



にほん しゅっさん かん ぶんか  
日本の出産に関する文化

The Cultural Aspect  
of  
Japanese Childbirth

にんしんちゅう  
妊娠中

During Pregnancy

ふくたい  
<腹帯>

<“Fukutai” Maternity cotton girdle >

にほん にんしん しゅう いぬ ひ いぬ  
日本では妊娠 16-19週ごろの戌の日に、「戌のように  
あんざん  
安産であるように」という願いをこめて、さらしをおなか  
ま しゅうかん  
に巻く習慣 があります。おなかを暖めるという意味で  
しゅう ひと おお ささ  
使用する人や、大きくなったおなかを支えるために使用す  
る人などさまざまです。また、まったく使用しない人もい  
ます。

In Japan pregnant women start to wear the long cotton cloth, tied around the waist and tightening the belly, on the day of the “DOG”, in Chinese astrology, during the period between 16th-19th week of pregnancy. This is the custom to pray for easy childbirth. Some Japanese women use “Fukutai” to warm their stomach, some use it to hold their fat waist. Some don't use it at all.



しゅっさん ごと  
出産後

After Delivery

お  
<へその緒>

<“Heso-no-o” Umbilical cord >

ま まも い つた お  
魔よけやお守りになるという言い伝えがあり、へその緒を  
と しゅうかん かんそう きり ぼこ  
取っておく 習慣 があります。乾燥させてから桐の箱など  
い ぼかん さいきん かんせん りゆう  
に入れて保管しておきます。最近では感染の理由から、  
お わた びょういん ふ  
へその緒を渡さない病院も増えてきました。

There is an old saying that the umbilical cord will be a good charm to keep evils away. So we dry the umbilical cord and keep it in a box made of paulownia wood as a custom. Recently the number of hospitals which don't give the umbilical cord has increased because of the concern about infectious disease caused by the cord.

しちや  
＜お七夜＞

せいご かめ めいめいしき げんざい しはん  
生後7日目に命名式をすることです。現在では、市販の

めいめいしょ はんし ちゅうおう めいめい なまえ か  
命名書や半紙の中央に命名〇〇〇と名前を書き、その

ひだりわき せいねんがっぴ か かみだな かざ かべ は  
左脇に生年月日を書いて神棚に飾ったり壁に貼ったり

あか なまえ しちや まえ き  
します。赤ちゃんの名前は、お七夜の前に決めることが

おお  
多いです。

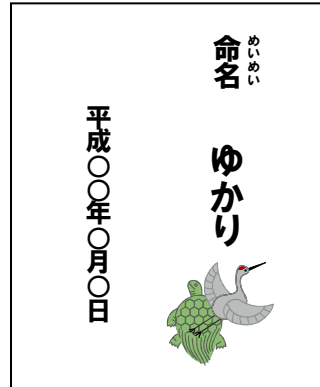
＜ “O-shichi-ya” The seventh night >

This is the ceremony of naming the baby on its seventh day after birth.

The parents prepare a special form for naming the baby or prepare Japanese paper for calligraphy.

They write the baby's name in the middle and his birth date on the left and hang it in the household Shinto altar or on the wall.

Most babies are named before the seventh night.



うちいわい  
＜内祝＞

にほん しゅっさん いわ いただ たい  
日本では、出産のお祝いとして頂いたものに対して、

かえ しゅうかん うちいわい  
お返しをする習慣があります。これを「内祝」といい

ます。お返しのものには、内祝というのし紙に、

う なまえ か は せいご かげつ  
生まれたこどもの名前を書いて貼ります。生後1ヶ月まで

かえ いっぱんてき  
にお返しするのが一般的です。

＜ ”Uchi-iwai” The gift in return >

We have the custom of giving a gift in return for the gifts received for the baby in Japan. We call it “Uchi-iwai”.

This gift has the white paper “Noshi” on top of it, where the words of “Uchi-iwai” and baby's name are written.

This gift is generally given within a month after birth.

みやまい  
＜お宮参り＞

せいご かげつ たんじょう いわ びょうき けんこう  
生後1ヶ月の誕生を祝い、また病気をせず健康であるこ

と（無病息災という）を願うために行きます。着物などの

せいそう じんじゃ て ちちかた そぼ あか  
正装をして神社に出かけます。父方の祖母が赤ちゃんを

だ みやまい いっぱんてき  
抱くのがお宮参りの一般的なスタイルです。

＜ “ (0) Miya-mairi” Newborn baby's visit to a Shinto shrine >

The parents and grandparents take the baby to a Shinto shrine to celebrate its birth and pray for good health one month after birth.

The family members and baby wear formal kimono. Generally the grandmother (father's mother) holds the baby in the shrine.



## <くそ お食い始め>

せいご にち にち おとな おな しょくじ  
生後100日～120日ごろに、大人と同じような食事を  
あか ようい あか た  
赤ちゃんにも用意します。(赤ちゃんが食べられるような  
スープなども用意します) じっさい た  
実際には食べるまねだけを  
するのですが、これは いっしょうた もの こま ねが  
一生食べ物に困らないように願う  
ために行います。



にほん しゅっさん くに  
～日本で出産したいろいろな国のママたちから～

## <インドネシア>

しゅうきょうじょう りゆう ぶたにく た ひと おお  
宗教上の理由で、豚肉を食べられない人が多い  
あくま あか まも い いみ あか  
です。悪魔から赤ちゃんを守ると言う意味で、赤ちゃんの  
ベッドに、にんにく、かがみ お ばあい  
鏡などを置く場合もあります。

## <パキスタン>

しゅうきょうじょう りゆう じょせい いし じょさんし  
宗教上の理由で、女性の医師や助産師からしかケア  
う  
を受けられないことがあります。また、にんしんちゅう  
妊娠中であつても、ファースティング(しょくじ せいげん おこな  
食事などを制限すること)を行う  
ひと ぶんべん まえ いんぶ け そ  
人もいます。分娩の前に、陰部の毛をすべて剃ることも  
あります。

## <イタリア>

う あか つ いっしょ がいしゅつ  
生まれてすぐの赤ちゃんを連れて、一緒に外出すること  
おお けんこうてき かんが  
が多いです。そのほうが健康的と考えられているからです  
。 さとがえ ぶんべん ひと  
イタリアでは里帰り分娩をする人はほとんどいません。  
じっか かえ ふうふ なか わる  
それは、実家に帰ったら、夫婦の仲が悪くなってしまった  
おも ばあい  
と思われる場合もあるからです。

## <“Okui-zome”The first meal >

A meal is prepared for the baby 100-200 days after birth. This meal is a regular meal just like that for adults, including a soup, which babies can drink. The family members help the baby pretend to eat the meal. This custom is to pray that the baby will have enough food in his lifetime.



Different Cultures in Many Countries



～Comments from mothers who have had

babies in Japan～

## <Indonesia>

Many people don't have pork because of the religious regulation. They put garlic and mirrors on baby's cribs to keep evils away.

## <Pakistan>

Only female doctors and female midwives can treat some new mothers because of the religious regulation. Some pregnant women fast (diet restriction) although they are pregnant. They sometimes shave pubic hair before delivery.

## <Italy>

They take new babies out soon after they are born. They think this is healthy for babies. Women don't visit their parents' home to have birth with their help. This is because it would mean that the couple wouldn't get along well with each other.